

第10期行動テーマについて(案)

	第9期行動テーマ関連	新たな行動テーマ	その他
1	環境フェスティバル	自然環境	ストップ！環境ホルモン
	環境関連グループが集まり、イベント(遊びやゲーム)を催して、市民に参加してもらい、各グループのアピールをするとともに、芦屋の環境に興味を持ってもらう。	・芦屋川の生物に関して ・潮芦屋ビーチの生物に関して	界面活性剤の入っていない石けんやセスキ酸を利用して。講師に使い方の説明をしてもらい、その際に合成洗剤の恐ろしさを知ってもらう。
2	環境活動報告会	生活環境	芦屋川のツルヨシを減らす
	環境活動報告会と作文コンクールを継続して開催する。	・芦屋市の改善すべきポイントの抽出	芦屋市の芦屋川の除草作業を、年末から初夏に変更できないなら、活動報告会に参加いただいた方たちと一緒に、古市先生が離されていた、5月、6月ごろにツルヨシ除草活動をする。
3	子ども向けイベントの連続開催	芦屋川の観察と清掃	ゴミの削減
	環境関連NPOにワークショップ等のイベントを企画してもらい、参加するとスタンプがもらえる。その後、イベントを通して学んだことを作文にして提出すると、集めたスタンプの数に応じて景品がもらえる。	年に数回、定期的に一斉清掃を行うとともに、その際に川に生息している動植物を調べ、観察して芦屋川をもっと身近な自然として感じてもらえるようにする。	ゴミ袋の有料化(大型ゴミのように、ゴミ袋を有料にすると、ゴミの削減に繋がると思う。)
4	環境活動報告会	芦屋の自然観察コースの設定	
	年齢層を高校生や大学生向けに設置し、環境に関わる近隣の学校や学生に参加していただく。商工会・議員・環境関連企業からも参加していただく。(ルナホールなど、前回より大きな規模にする。)	城山周辺、ロックガーデン、東おやふく山、奥池周辺など手軽に観察できる場所があるため、関連団体の協力を得て、これらの紹介マップを作成し、市民が自然と親しみやすい環境を整備する。	
5	実験観察会	コープの森 社家郷山	
	半田委員による気象に関する実験観察	社家郷山のフィールドを使用すると、いろいろな体験が可能。近隣農地で収穫した野菜を食材に、かまどに火をおこし、野外調理をして食べながら、食べ物と自然のつながり、山と里地や海との関係性を伝える。(自然観察会なども。)	

6		環境問題に関する映画の上映会	
		関連分野のNPOの方に映画の解説をしてもらい、その後に質疑応答やグループディスカッションなどで参加者の理解を深める。	
7		啓発活動	
		ホテルの観察や紅葉狩りなどのイベントにからめて、NPO関係者や専門家によるミニ講義やクイズなど。	
8		講演会	
		講師の推奨：小西啓之(こにしひろゆき)教授 (大阪教育大学教授) 南極(昭和基地)観測2回 北極(スピッツベルゲン島)観測4回	
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・単発で終わらせるのではなく、定期的に開催する。 ・民間企業や、関連団体のタイアップや協賛 ・子供向けイベント以外に、若年層や子無し世帯もターゲットにできる一般向イベント ・インスタグラム等も流行っているため、いい写真が撮れそうなイベントは若者に受けそう ・他のイベントと合同開催は 			
メモ			